

春暖の候 宮崎県防衛協会青年部会 宮崎支部の皆様には恙なくお過ごしのことと、衷心よりお慶び申し上げます。また2月8日に開催した当支部総会にはお忙しい中にも関わらず、支部会員の皆様に多数ご出席を頂き感謝申し上げる次第です。

さらに第5空団司令福田空将補、第24普通科連隊長中川一等陸佐、第43普通科連隊長廣田一等陸佐、第13警戒群司令中嶋二等空佐、宮崎地方協力副本部長古澤事務官等の現役自衛官を始め、中野一則県議や右松隆央県議もご公務多忙を極める中、多くのご来賓にもご臨席の上ご挨拶等を頂戴し、この場をお借りして改めてお礼を申し上げねばなりません。

さて2月は3日に市民プラザでの右松県議選総決起大会、8日は前述の支部総会、11日宮崎神宮の紀元節参加で前半を折り返し、17日の都城駐屯地創立記念式典で締めくくった処です。

その式典冒頭で初代43連隊長堀江正夫閣下が訓示されましたが、とても大正4年生の104歳とは思えぬ朗々たる大声を発しつつ、曾孫のような隊員に国防の重要性を諄々と説かれるお姿に大変感動し、64歳の私如きが老成ぶることなどあり得ないと反省することしきりでした。

また仕事絡みで21日(木)から24日(日)まで厳寒の北海道に飛び、帯広に到着したその夜に震度6弱の地震に遭遇し、地震大国日本の底力を痛感した次第です。幸い大きな被害はありませんでしたが、翌日帯広から札幌に向かう特急のダイヤ等が狂ったせいで大混雑となり、通りかかった車掌に暖房を消してくれと頼んだのですが無視されたようです。(何せ外は大雪でしたから)

今月も小川先生からのメルマガから面白そうな一文を引用致しますのでご一読下さい。

・韓国人が抱く日本への劣等感

2月21日号でヘイトとレイシズムを取り上げたところ、読者の方から以下のようなメッセージが寄せられました。

「民族差別問題について一言

韓国人の民族性について言及された事が物議を醸したようですが、**最近の韓国側の言動は、そう理解するしかない**と小生も感じます。

韓国に詳しい人の説で、韓国では中国が親、自分は子であるが兄、日本は弟という**中華思想**が広く共有されている。

また、その延長なのか儒教の影響の一つか、**序列意識**が強烈で、どうも対等という関係より上下の関係に拘る国民性が強いという論考を読んだ事があります。

日本人も上下関係は気にしますが、韓国(半島)は、それが強烈のようです。

従って、**文議長がお詫びをすれば済む**と言っているようですが、それは、虚しいものになり、**そのお詫びを根拠に次々兄としての要求**をして来る事が予想されます。

これは、日本の**暴力団**(半数は在日出身という説も)が一度**見かじめ料等**を払うと、それを種に次々脅してくる態様とも類似します。

日本がどう暴力団と向き合ってきたかという観点から、韓国との付き合い方を考えるしかないと考えます。

平成31年2月21日 名前」

ここにある「**中国は親、日本は弟**」という朝鮮の人々の序列意識については、遠慮会釈のないやり取りをしてきた**私の友人**(韓国の軍人)との間でも、**ときどき顔をのぞかせる**テーマでもあります。

彼は酒が入ると、決まってと言ってよいほど「**日本は第2百済国だから**」と口にするのです。彼は**新羅**が支配した**慶尚南道**の出身で、新羅に負けて日本に亡命していった**百済**を見下しているところがあります。その百済が日本の国づくりを助けた、つまり日本は百済の亡命政権による国だという意識を持っているのです。

確かに、古代日本の国づくりには百済をはじめとする朝鮮半島からの**渡来人**が果たした役割は大きなものがあります。**百済人の足跡は日本の至る所**にありますし、新羅人や高句麗人の村も残っています。埼玉県の高麗神社の場合など、高句麗の王族の末裔をルーツとしていますが、いまでも韓国の駐日大使が参詣するほどです。そこまで関係が深く、「**朝鮮の文化が日本を作った**」という意識があれば、「**こちらが兄貴だ**」という態度がのぞいたとしても不思議ではありません。

そんなとき、私のほうも言い返します。

「なんで韓国の年寄り**は中国のことを『大国』**と言うんだ」「ソウルのことを中国も台湾も『**漢城**』と表記しているのに**抗議しないとは不思議**だな。あれは李氏朝鮮の首都の名前ではあっても、中国の植民地支配の名残だよ」

最近では中国を大国と呼ぶ世代は少なくなりましたし、**漢城の表記**も2005年ごろから「**首爾**(首爾)」に改められましたが、日本の植民地支配に反発する一方で**中国の支配の残滓**を引きずってきた朝鮮の人々なのです。

といっても、私は仏教をはじめとする様々な文化が朝鮮半島経由で渡来し、現代の日本の基礎

を形成したことは、**全面的に認めています**。「仏像にしても、朝鮮半島で洗練された姿形になったことは百済観音を見ればわかる」といった話をすると、彼は眼を細めて嬉しそうに笑います。

そんな会話ですから、**日本に対する劣等感**を抱いていることも、**正直に話してくれる**のです。

「**1対1**だと、勉強でもスポーツでも喧嘩でも、**日本人に負ける気がしない**。しかし、**2人ずつ**になるともう、**日本のほうが優位**になる。その差が**国対国**になるとどれくらい開くか、**韓国人はまったくわかっていない**。だから**海軍**にしても、背伸びをして大型の強襲揚陸艦を建造し、『独島』などと対抗意識丸出しの名前を付けたりする。仮に国土の面積や人口が同じだとしても、**集団で組織的に行動できる日本**が韓国を引き離すのは当たり前なのにな」

彼は、韓国人は**利己主義的**で集団行動どころか個人主義でもないと言います。だから、自己主張が強く、韓国人が2人いると政党は3つできると言い、それが政権になると時の**大統領の一派**が国民の利益に関係なく**全てを壟断**することになるし、政権が変わると**前の政権の残滓**を一掃するために、場合によっては前大統領を逮捕するようなことになるのだと解説するのです。

同じ気質は北朝鮮にも当てはまりますが、一般国民は抑圧に慣れきってしまい、韓国人と同じように自由を手に入れないかぎり、利己主義的に動く気質を取り戻すことはないが、**北朝鮮の指導部については韓国と同じメンタリティだから油断はならない**とも言っています。彼は本当に韓国人なのかね(笑)。

話し出すときりがありませんが、現在の冷え込んだ日韓関係は、文在寅政権が倒れるまでは続くと思わなければならないでしょう。日本としては、それまでの数年間に親日派を増やし、**次の政権で関係修復が可能**ように準備することが肝要だと思います。辛抱だあ！以上

トランプ大統領と金正恩委員長がベトナムのハノイで第2回目の首脳会談を始めましたが、北朝鮮の非核化や拉致問題の解決にはほど遠く感じられ、日本を始めとする海外メディアも前回のような興奮状態は見受けられません。それよりも韓国の北朝鮮への異常な接近ぶりの方が異様に感じられ、朝鮮戦争終結合意の暁には核保有したままの南北朝鮮が合体し、日本に揺さぶりを掛けてくる悪夢にうなされるのは私だけなののでしょうか？

いよいよ花粉舞う辛い季節の到来ですが、桜花咲く最も華やいだ時期でもあり、支部会員の皆様には呉々もお健やかに過ごして頂くようご祈念申し上げます。

平成31年3月1日

宮崎県防衛協会青年部会 宮崎支部長 小 倉 和 彦